頤

道

堂

詩

選

由皖之 余背 也 和才益斂方之 河渠治其他論鹽莢漕務若良醫之治疾而名危之 外艱歸以母老不復再仕又以爱子早天 不合不鉤深以致遠不 (之大成矣且其言道即) 其所為詩出ス 下家徒 上第謂此才庶幾無魏乃因祿養之故僅以乙 相未竟其用為可眥然議海運而海運行襄河渠而 **视** 浙學以 。吳浮沉宦游垂二 四壁終年奔走衣食未能息有論首 古人似白樂天亦似都斃夫津津乎集 海塘賦國弱詩識陳子雲伯於獨次 /李杜韓蘇近年學道有得心益平氣益 į 111111 <u>;</u> 異以鳴高平正簡直以明三 十年其宰江都三年而 一氏之書證 以四丁六經理無 弟又故食指 THE STATE OF THE PARTY OF THE P 海滩由 科出 已既 一調獎 竿 期

者 **舊之思適接郵** 道光癸未秋八 者不 .則全集俱在戒後之作並勒付粹世 源之旨徽言奥義恒 一余皆識之亦多及余門者以詩明道以道通儒如君 一數也余尤為作序久未踐諾 書因作此篇以 流露於詩卷之中四十 西冷烟水方深懷 で之立 沿門 年來海 闖 北

而後 化 益虎豹夏則希 背周易言大 易取象焉以此 世派學之 其少時多 序 临此 詩 而裁之光景常新 灃 可傳者背朱子言少陵詩初年甚精細後乃曠 士潛心著並思以文章自表 へ 丁子にしていることにいるとしていましている 上 解後 碎篇章後來編詩皆 君 _1 知文章之道無取 秋 乃脱去凡近 而變於用筆疏密之 則毛毯新 人君子文德 到變 有 故變易之際文彩最著 不入 **跗常葉枚**而惟能變者 天馬行空之 所以光 葉 問者也元微之 見亦未有 中明徐 视 昌穀 此 不能 也後 遊 變 郁: 莜 初

並 遊 柳 趱 撫 所 水 就 作 館 君之 感 到 I 柳 鈔 刻 事 胍 训 典 争 颐 變 |酸詩 一於詩者 何 道 陳 錦 附 則 來雙 当 前 您 亚色 詩 萷 楊芳燦 能 船 揮雅 企 邂 得 及 间 運道 錯 君甚 捌 齊名 彩之 或 四 縣 悉 4 省 數 峢 1 而 割 英不 雞 自 1/ 揚 時 以 太 Air. 篇 師 週 副 忠孝 直 為台 是 糴 - ù. 川 軣 楊 官 雅 肵 爬 11: 陳 $1 \mid 1$: 近省 牟 將 VALUE OF STATE OF THE PARTY OF F 後 刻 7 碧 夫 낡 來 髭 斂 狐 城 虔 门 則 魟

變與微之 少陵詩所云 探極詣微 八用筆 所有年見 Ē 《益老足 濫其所 自製 問 烏能量世 作當 未可知也 はまない これのは これには これには これに 力追風雅而不 取筌端棄高 同 放能 必更進則或如少陵之體格不變而 服靴坐齋 以君為好吟詠方欲自極其 徒沾沾馬求之於詩故其識益 ĪĪ. 為詞華之 百萬層者庶幾近之子 而粉 中談書經史 (所獨自是以 平古作者之 了集群

道堂詩選十四卷外集九卷補遺四卷文四卷而屬序於 詩而知雲伯之深者莫如余則以序其人者序其詩可乎 **余余之於詩涉獵門逕未能深入奧窅何足以序雲伯之 余自滇歸之九年為今嘉慶二十二年友人** 存京師舊刻碧城仙館之詩合以出都後至今所作為 刀余之與雲伯訂交也在辛酉夏同答京師君寓橫街查 余寓從兄次軒侍御家相距不百步朝夕過從見君讀 文皆有常度不失尺寸詩文名與楊蓉裳農部同見 小少吝嘗浹旬為經進文十八篇咸邀 師稱為楊陳 The trans them to be stated and the same that 國家有大典禮館閣諸君乞君 八陳君雲伯

諸冊府或以 萬里外而君亦以人滯春明鬱鬱不得志以親老 不援故所至多去後之思官奉賢日為民濬河萬五 一伸佐宣房之役會河決減壩談觀察力主改道已得請 獲悍號稱難治君 始奏河復並議另建五壩及河口設閘二事情乎未見 用也改官江南攝實山常熟上海奉賢崇明五色皆 一般以養乃試吏皖中遊鐵梅庵宮保督兩江 愚民失教者多胥吏亦然以敵扑為整頓是南轅 言其不可於今漕帥李公逹之大府乃濬雲梯 也吾惟持之以勤慎處之以寬平庶獄情可得 **廖**道生討 近 銀 片 賜 物潤筆識謝勿受也自余再遊滇南 一以誠信符 人寬以濟猛嘗以告 Ξ THE PARTY OF THE P 將水 關 同

民者也又請建施氏二忠嗣 明嘉靖中死倭難趙 **鄭於金陵省也次年重莅又請建前尹唐趙二公祠唐則** 率民兵與倭戰死者也其以道得民如此攝象常熟會河 於虎邱申大府乞防護馬忠節故以海運事思陵後狥國 八寸之災初攝影明為前明沈忠節公建祠並訪其遺墓 一門 年からよずることで 說並詢之長年三老習於島縣沙幾者的然知其可行 **巫漕運屡梗有** 會排上官意河亦復舊不果行君少 詔訪求海運君綜泰漢以來數十家 則 國羽乾隆中築海岸百餘里衛 則官蜀死張獻忠難一 至錢六七

考訂文藝之學及兵刑漕河諸經濟故奉師門之訓尤 **諡尤篤舒鐵雲孝廉以試春官不第**畱淵鴻臺太夫 為安身立命之本人矣吾不遷矣因以退庵 名流以自重者君 今日之 沉官海奉儘 久閒居之日亦人為郡縣諸公延職疑獄積 以于計多所全活吏胥以吳下名醫目之 和內介不以 為經營計旨者經歲 賀日某醫至矣案當結矣余乃益有感於查梅 母乃郡縣是一 先補用之 人困易其所守所遭 以恬澹處之語人日 即省垣閒居之日山 一語之有味也君學於倫紀 明詔者閥十二年而未得負 官未嘗無難 吾以委心任 自號君在 見岩輿

世為 場官舎ん 得與除 一個道 年失意 八酒 **顾道堂詩選發序** 居 密蹤蹟亦最 **八較**充故座客常滿過 耳熱剪燭劇談未管不歎 英君少 远處固 師與紡峰曼 訓 無俚叙 太白於詩最謹 夢中嘗與余對榻 如枯 邓君之為詩派 图 同官 禪君亦病 同旅 江南 嚴 芝灵 ļ 阿連不可及 Ŧ 间 漢魏津 稱二陳曼 队則香 如其前 陳

史詩寫第 其端而 可謂 因余為序其等人 -iii) 少年刊其才藻之作為碧 一直而 亦運會使 不魏此言矣公子孟楷少年工詩寫行皆學 香山竟其其也所言如此其於詩也 列為首編以詩明道尤 100 少陵以樂府 以表章貞烈激揚忠孝為主 七古 オ華師 之故其彼 然兩家不可言優劣 以盧忠烈墓為第 之 詩詢所以立言之旨余曉之 涮店输無際以 乌詩始抉 得聖人 城詩鈔消 自言五古以夏 一侧定之旨少睃 非直背工亦由 光階自 開後 可調深矣集 名其集 風 餘 訓

一頁的是一方列是多外 序亦即以是意為去取並

簡 害馬廉泉 命重視 **蚆齊梁有屯田楊桺之思得尿樂芙蓉之意然或歌** 勒 而皆寒未嘗不澈滌靈襟掃除凡艷 **碧城詩鈔見其鼂采方升春華自啓大抵取材楚** 調換玻黎古意蒼涼鬱風雲而自壯邊聲激宕 羽毛龍門 兩准而雲 不頭道堂持起宣字 一碗高吟公事之餘復以 酌市化飲羊羨花手之宏春幾于 雅 非所以 支將導源于星宿 伯亦適官茲土第見明鏡之 删幕年乃悔 |桂倒 刊頤道堂詩 也今夏四月 固 ľ 知風 余向讀陳 可以得 7 队 邶 懸 肵 似特

筆無軌躅之可尋而知楚樹之不足珍矣唾地成文若 集示余百 · 壯遊獲交賢彥醴蘭湛染得之講習之 也探疑而得珠不必鱗爪之盡棄也葢不可沒者才 限者學泛之 助而 大輅以正其歸則徐庾不傷于麗迨至懸河落 而知即錦之非為麗矣憶君綺歲早負英聲 離風而得雅然而 珠湖玉 搜羅西穴 季用是激揚風化崇閘幽微 ; 海以博其趣則郊島不病 瀚神劔干辟喻其精能荷 祗精以遺粕不必臭味之 弔 其寒

僕秦珠飾乎姬姜余威泥印之重來憫河流之日下方將 刹 者良更之職司淮揚當冠盜之衝**拉魚鹽之富往往**風 養受之以頤循平自然變而至道則登斯堂 尙卵畫 朽與政相通矣且夫就實斂華者風人之意旨還浮返樸 [顧名] 次吹櫥 利競椎刀今即螢火無徵煙花漸歇而游五都之市 年歲在 偷去共淫 而薪雕入高明之家且金迷而紙醉齊執被於值 而思義讀是選者且 雅之章務使婦盡 學與真實需要的子 **漓而舊雨幸逢新飲克贊願與陳蟋蟀** 知悉農皆 於軍國之大立言不 勤 俗而化民焉 깺 八 然後觀 也有以見君 Section Contraction.

には、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、 自序 師友之助因先生言始有額學之志觀書於市且 以計偕人都居京師者五年孫君古雲為余刊碧城詩鈔 可及高岑王李若之何其不學也余家無藏書又 Ė 二年戊午從先生入都明年已未又從至浙越二 存菜飾之作為多丙寅歸里門旋試吏院中轉釀 束髮受害資質推得未當學詩嘉慶丙辰 江南途至吳門婁東蕭君樊邨 一視學浙江見余試作謂余日子之支揚班薛 變舊習於皆作多所剛汰今年春 施制府 留余佐宣防之役明年 來館於余論詩頗規 丁卯以河復叙勞改 病中無以遣 た日本の 鈔且讀 也詩亦 年 悄 Ē 河 無 余 元 又

也往 爲篇終而不識命意之 委不知其幾千里也若山操然巔之去蔻不知其幾 取韓孟王章諸家詩讀 君之論詩也 生遊也人蕭君之館余者今亦八 論詩也日作文之道不盡自文出作詩之道亦 出自古未有不求根柢於六經諸史面可以自立 返葬釋稍有所得又删舊作存十之七余之從伯元 雖不可以感漢魏唐朱以來之詩人 ルマスイニミモラ フィーミーラフィー 山與元微之書論李杜詩品舉 日詩必理是 所在是理不是也是安作也而君 之覺詩中之境若 而後意足意足而後氣格生 年所得緒論寫多先 江河然源 少陵忠 仞

自繩檢較少作顏有不同則師友啓迪之功有造於余也 諭之作列為 徐首編, · 矣余學詩至今亚: William to the second -四卷因序 - 年所為詩約五千首剛定之 **岩及師友之** ļ. 尔詩雖 自紋

世孝穆之華詞皆士衡之緒論也憶自幼時福吟長誇 絢爛寧非本色何必謂雕纖之文費目柔曼之音導淫策 原夫龍梭翠鑼七 既識異型之美鎰忘同體之工撫絃共操師心齊契有 屬雅點多於楚漢選雕績於齊梁遠溯玉溪近宗裝水 抒其施藻曠觀物象獨比辭章侍盼生乎淑姿窕冶原乎 能流其韻鵠若 天質有蕭縣面善感則新靡問屬綠精如高麗以見奇則 **橋藍無雜意匠獨関亦未敢喜甘忌辛好丹非素然** | 響懸桑結綠非光乐無以辨其珍濫腸號鐘非繁會不 顾道堂詩選原序 爲白而孔翠粹其羽毛脂敷攻樂而蘭芍 分星漢之華靈石雲珠九變叶鈞韶 十一路西方路路路

芳之符乐墨音為掌搜唐述之菁華故其所作如雕雲五 異問責車軟事莫不流譚岩海著錄成帷丹篆羅 之名間容椀香鑪坐聞花之小閣三升酒盡 之密契證玉格之風因贻余玳羽之殷贈子珊瑚之架搜 述索制香藻合章勝貴琴等清譚風 麗鈴東方之錦袍團扇詞工學王憲之花館稱 成連海上之情把子晉雲中之陕者乎雲伯太邱菲 能成之蕨紬 八音精渦生雕淡之文藝圖耀野班之乐銀亮 · 优爽之才為問題之學驅染煙墨鏗酮金絲 雞次之典儿夫孫華十 月筍戦 爽 綳 帙丁 四座 記訂金堂 面紫宙 胄 何

難 舊夢於吳城誌靈書於墨會關心盡業彈指浮應情深百 射秋雕於大漠勁翮盤雲驅代縣於陰山霜蹄蹀雪紫濛 枢帳懷 三篇义手而詩吟 高級 一 (順 近 生 詩 選 原 方 否此聲雄異的集中之高唱亦城外之奇觀矣若夫譯 剛何羨延年之慈诚歟既迴起帶飯雨蒙遠遊之筆危 野黃圖舊塩承華故宮迎心檢苑流京下古曲部婆既 配頭靈鳳之歌綠重三生紫玉韓童之曲指蘭香之 勉問之天鄉半屬寓言何傷綺語迎至香養豆蔻 具束出塞之裝呼應被肯児之談尋箭路虛龍之路 、歌翻動動游視器為之梁濡忘鶥鴻之泉標句 低何寄密書而凝行攻砧造壓步修嫭 八韻靈源自濟銳漢不休共驚謝艾之

之違定梁卵娣黃下行藏面英定風花錯迕才命升沉當 之鳴鳥握靈珠而匿耀拊古瑟以銷聲發壺春黍恐趨 判空乎屯華游布偏遺空谷之孤芳縣羽啁啾矣聽焚衢蹈問為俳體亦復古香拂紙仙露零亮意似蕩而爛貞態遊香煙輕簧鳥角紅鹽之調口衛石關偶作煩詞背畫天之遙塵螺墨蚖脂寫穠纖之巍格花承節鼓明童光伎之 作達視無盾界數也惟是流光易遊 累何若兹之四鈞則唱六珀均調無將旃葉之香盟以 塵螺墨蚖脂寫穠纖之逸格花承節鼓 江淹才盡更無妙緒斯思鮑照文枯祗臉鄙言 | 良會不恆自

識 周 匪 社 為前 微 起 詠歎 敢 並玉臺作序級萬言之 修漢盤流別 勤之意命陳 馬定競寫 之素交難忘 那 大其沉麗 序 於千 何 杰 诚 虧 堂詩選原序 逾 印 於骨肉 流唱均響 施 迹 風雨魚龍之 我 想 之 称之 百 玉臺之作登 山 一親方經路 业 欲 訓 築春順 一種菜須藤州得鶴 感 吳冶標 河 量才 感 人最 冬春於四時 才 突 時嘉慶 宮羽之音 即們 观慧 深雕 **先聲** YE. 子昇 才情所 邈 非 쒜 百過 羣 耶

華亭於是 水激 詩 信之文炭 北子來 由 揚 L 此 峭 國 規 也 膠 初 風 緩 二八代 京 氣道 膠 該 仓園楊蓉裳農部錢塘陳雲伯半 世之名流被 以來要東之詩祭酒 風 師孫古雲襲伯 伯 安 緊 尬 下拖三 啊 一枚草 同情 肖徐陵之 腑 我 唐雲伯晚 所邓工 於長安蘇緯盧 體 致 致宜武 東南 自爲 基 為刻深吳 稱盛 出 派 作者 間脈夕 遂 一變線 河之 人里 和 菜並 後 歈 74) 即第 · 」 造其選 亷 稱 越 情 時 絎 作 楊 柳 一馬農 製 雕 肥瘠 陳云處 願 言愛 酌 圖 京 県 者 與

珮之 夫璇 始要約義 和宜 金薤之 粉雅 題 介外之 斯準 辰在 E 虚 /林扶榦 英建章之宏構 瀕 陵之芳澤也以之擬寒女 Į 澤於 在起! 綿 想琅쌣 不脈 附距乏耆宿若夫 通慧絕 犀毘長言不足 機路情並雅力詞不害志 玉樹之 助 で 秘冊搜笛 聚青萬卷陽亢宗鍵 ţ /響/整 团 也以之 大监 臠之 內之奇勝館 同聲聽 剗 何思 三뺊 僱 Z 胸 戾都門形 割亦極 藻 復 才多至於帝 黄 高 圖 佈 拍洪建 大年 圳 伙 其排 原 陋 焩 恣 用 則 得 齑 能垂 t 曲

雖然臨邛高交乃輸郎官之貲騎省儁士勉就何陽之辟曾何足云雲伯三上春官行將謁選文肆質羅謂之何哉 識煉子 臣之である。 雲之至洛下野智尤勝氏腹房胸燕南逍北葢弦集為最 雲之至洛下野智尤勝氏腹房胸燕南逍北葢弦集為最 製能無三歎祭酒 元境侍家大父官京 腦性情其學氣證教篤 型討選原序 可作家壁斯旨海昌在縣 情與學氣並敦篤砥礪學行被服孝雅制旨則鬯廣進相接如飲醇聰昕師海內顧廚咸荷綿紵癸亥之夏始 一歲僕之複落

常為操遊 五就淮南 外制詩類項文不 成乃與之抗 光鉛槧之 柳 所究心斯盎 如同工 也其所為詩整朵 放事之 ĮLJ 莊 製曲 仲宣 収 風拂史策 斯儷 作接武樓 加點凌雲之風屢遂 門意經也 朝廷大典咸 胍几 世珍匪直支棟君之獨文 九萬餘言 罗作下 、絶點源 七言歌行 陰符握奇並 所和不得專 下述任沈兼之 上赤頌奉贄求文履 研京練都 以排 專罪美 譝 **容質側** 加元寬宣 ~機速 八居 居

說記 覛 其 詩者劇金付梓 君結忘年之 m) 治疗 夢寐 笑 與子當不够 11) 好否不善飲 部智 帳 尚宿語新推 庾信王勃个之作者惟 意比與宛轉相根文 契東琴 目世之作者中年 赤官三淵 品珍搜玷存十二 **从之詩集傳鈔**選 少作於當時論者並稱知言君當問子 麗色異特益 岩 爲子師 行將調選毛義娛親 ilij 阿楊 楊 山北 不 蓉裝農部風德峻蝗與 三玉室宮醴 分 吾與子君欲提 部語特 陳君謂農部文通才 步輕新其澳 以後既 以遊覧其可 紙貴都人 主之文人 班枯寂即祗文 棒敝色喜 樂平計 不 作君 解盡 能 崩

非誣金臺葉落潞河帆飛大江 功南海 於藍曼 有體有用之學二生皆一時傑出而余於無意中得之 雲伯專 舍 何如也惟是造物位置人 (生詩筆挺健卓然成家兼通蒙隸尤 習心吏治 一次得二 一四島 生擢高第入詞坦文學侍從未必不與鄉 しいこうだらい 乙
北
秋
七
力
長
洲
李 • 陳馬曰雲伯 雅壯題極似吳梅邨而氣骨清俊吉 公南待君來會倚裝取 八材與人之 日曼生似出余及 此 際過往往 ... 門

臻極詣惜矣然豪傑固 邑者循艮之實 人之學問為學問古人之 礼名此而不能見之事功二 行作 奪出其緒公 個館詩鈔遂書之以代介言 **於清江行署** 積而非文上 治術為治 工之虛膠其匠 生身將民 置



外詩體妙於褒味貴平雅其人其詩、既伏處乎簿籍之附而又吞吐大煙霞既从處乎簿籍之附而又吞吐大煙霞好不繼亦理之強那讀隱人書在祖方道契是西溪之魚那讀隱人書在強項更不 誰与正者 順道居士多替 洲

卷外集十卷秣陵集大卷湖山懷古集大卷墳既卒讀送 殊內碩於心脈有六義日新日豔先生少年之作也日 **命序言星辰自昭營蠡何當仰承寵逮不知所言竊惟先 小贅云敢畧老生之談獨論藏山之製尋釋句指中晚** 「適先生近歲之作也而暉麗萬有楝椽」心則又日 標學疑 師頤道先生示堉頤道詩選二十卷續集四卷補遺 一時先生翦截古雅斷限今文體妙羣音自成一 大焉昔蕭子顯云文無新變不能代雄陳陳相因通方 宙合尹婷以志養娛親任延本經術治吏華離所 一雅主盟敦樂幸弘問字贄偏宁寰瓷蘿測交 仰兹 [靜

味辨 艦之 魂 高才菀其鴻 楚艷 水 新之不可及 泉嫭蕩日如玉 耀靈 具變 不可及 無妨連犿陳芳國 漢 松烈 古模別為康莊開其新 侈勢有必至先 忽來爽情 八也遊 家秋 欲兼長豈 裁童豪拾其香草這和之言斯集能 也 收霞時雪 雯 浉 **芳國中五銖黼帳采眞鄉裏三澗玉爐** 起蓋樓諸作遠跡崇情迴腸蕩氣難其 質腦女 川者不作幸羅之 冥夜後 非健筆先生寒冰 返錢塘益藥負遠 生歐縣抽秘凱費場研 明其棲羽太華 **舰**乎運會去華適裸斷 有奮起者其先生之 轍醫夫 想 深 加獎 **昭** 虞習奏繼 習勞波者未知 碧粼 聊 冷 吐月白 風 城眉 汰 副 則其 平 非 操

貴直舉胷情非易詩史也先生揮之盆深窒之愈擊攀髯 ALC: UNIVERSITY OF THE PARTY OF 辨慧驚少陵之如神不假覃思自無觸諱文園雋語非人 華嚴 **間來記室超辭有煙霄意六轡沃若** 無病裂之句牽種秫之情有概於中即流於筆眞君子之 無對則其靜之不可及也釣華之輩結習聲書咫閒之 矜為廋語性靈偏好恉趣已乖先生花縣就封菱驅人 侧贴贴 樂有來斯應每不能已則其眞之不可及也公幹 、霄彈指即現儗其詩境庶其然平儀古鮮能方仝 一銜哀杜篤誄吳陸機弔傅南朝麗矚女女濟其 一塵不驚其適之 八夢 徒 所

深哲嗣 **滄浪所謂香象渡河金翅擘海方之李杜無娘代** 甚而亞細客方牢體兩戒備昭代之史才作有聲之畫苑 **下之不可及也堉素仰師資畧窺窩美竊條品目妄** 一慶所遭 上識 論 八籤 先生之文吾能言之子能繼之請援斯語並 附青藍異於檮昧間其商権意製無詭首少游 小雲跨竈鹽稱貽斧與歎眉山父子橫絕 丁歳在乙 非政 識 小氏金繩百二 偏 人伯 小亦醇 正式子言語手手 日序 起能言尚稱小技求其具體代不數 亦肆横翱 一十國 小則嬴松劉石毛舉百 直出力厚思精衣際玉 興則其 . 調 時 測

頤 將 道 廷 軍 古今體詩 乿 應 螺設 曾 潮 觀 遡 濿 調朔 樓 風 麒麟閣 將軍統禁 船阻大整 略 天空太 頤道 猟 批 堂詩選 恣 須 征 過 驃騎營父 報 征 刀涉 实 游

何 純 銅 冱 長 既 秋 釽 船 色 蒯 膔 閉 耶 現氏 歸 鲖 官 烟 潭影深 淇 幽 亦 秋遊 自 禽 國 自 竉 深寂寂 日本聽 知店 訪 顚 孤 館 笷 滕 跡 長崎 瀧 他 徑 惠 獨登 島 ाग 鄠

碧 純 東海 湖 鉤精 塗 滄 付 釽 餇 雨 仙辭漢法 雀潭河渚 中 晋欲鑄 絗 過 石 鑄 雨 筑 Εþ 西冷橋 萬 影 通 爾為 秋 鏛 開元太平字買 貀 寒潭度 銅分吾欲鑄 風 銅 升 一個爺夢 印署姓 残鐘們寺 橋疎柳隔 與赤莲 地北 1 梁濕 鴻 名 同 ini. 占 遠 浜濛松篁樓 朒 一数聲 立銅龍 來君 焚 為 郁 材实 雨典 啼 命 ZF. 鳥 衞 悲 閤 ijį 酒 鉚 伙 霍 事 The state of the s 堀空 層不 銛鋒 秋陰裏 波 **駝洛** 兆 如還 赐 阯 風 企 陌 鲖 ر. دران U

|絶 域 榧 有滸 空 感 觀 竹 遙 夹 遇 休 阴 闍 唳 秋 利 逝 眺 Ľ 闰 重 퐻 自 源 國 竹 疽 える一手のスタ 指 儿 風 胁 狼 河 旃 淌 遊 尔 尤 雅 蕭 看 架 師 瀟 湖 阁 ji 針 腕 微 一亭雙臺 帶 雅 關 極 珍 湖 彻 幾 禽 遐 游 際 無騰 空 否 鐘 一翠靜 意 膇 近 啼 遞 野 口

霌 諭 開 中 俗 學 野亦 皾 學 猆 朦 強未 梅: 聚 E F 復 誦 II. 並 村 构 被 别 記 稚 司 د راد 許 膟 胸高 慰 山 稧 知 定 **黔**華 캤 亦 加. 团 有 쐼 譲 題 1). 地 凮 源 館 谷 舒 尔 E 旬 H 悲 雷 遑 最 東 川 復 力 次宗 賢 游 風 牖 部 荫 英 旭 我 諭 說 阿 秋 地 經 名 EII $\mathcal{I}_{\mathcal{L}}$ 德 111 生 閯 我 鄭 諭 絶 懸 醞

熙 杜 FJ 潔 水 蓮 间 里 丁末 有 潮 遇 姚 廷 Ш 青琴彈 造 水 卣 游 天 衈 鄰 慟 灒 江 頭 圓 堂 樹 慘 悲 最 泖 堂 濟 烽 媒 願 菜 乾 F 燗 渲 妣 画 定 顶 北 親 杜 憂 譜 兼 鵳 मि 從 ۱۲۷ 清 眼 企 沈 燃 出 難 悄 變 傷 حراد 都被 焿 歸 最 慨 惟 決 是 悲 憂 昇 無 用 此 告 申 當 晋 平 年

臺 年(依) 際 負 部 遺 下 完 奉 月 那 舊 譚 初 巢 願 鎮 预 危 明 橋 說 台衣 装 枯 **3**/ 忍 满 長 桐 碎 御 死 席 慶 横宣 珠 放 如 歸 詩 滕 天 耹 重 從 水 君 此江 涼 戝 恩 春 源 准 難 訓 敢 明 湖 彈歸 趙 半 南 虞 作 初 老 敱 生 雞 願 餇 來沉將 μŢ 冠 垂暮 懋 拂 餘 江 樾 忆 左 關 故 中 樂 擅 為 创 府 滿 當 築 瑟 雅 脎 恫 坦離 遲 炭 與 py. 黍 偷 憂 蘭 滄 F 通 生. 冹 黻 熨 敦 迎 鄉 生

媵沈吟騷 竹影敞 聱. 鳳 夘 自清逈皓 岩 笳 **翦翎安我拙遠夢落林** 絶 鼓 素 虚庭凉陰 訓 應 烈 誰倚藏弓久已失嫄 雅 羽 園 應 壓道 教 亦修 實遺 鶴 世: 兩官魂梦黃龍 澹 共傳 潔 編尊前 講武臺荒落葉 狄 뛶 御 哲心定 節 林 場遺 樊籠 辦心 姚 有 阯 斷 香在 、黝盆 分與故 水皎 能諒難 角 我欲黃金鑄浪 湖 別仰 旗 黎城 遜 紃 追. 鴻 iù 略

林沈與煙清光藻湖 林鳥飯松花 秋色落 始葬歸棹記 頤道堂詩選卷一 他日歌 招隱來尋白 衲 家

徑蟲聲 鳴 松影菲堂 峰離 曲 片吹凉雪更與鵧琴訪辨才 關 路 爽 瀑巖花落古藤呼猿何處是響各四山 看山去青山翠幾稜偶過采樵徑相遇 月夜坐 低亞水雲痕鐘 亟 震道中 秋欲來靜聽征鴻悽 曲 一處翠苔寒瀑淨詩魂 **青猿邀** 一冷泉亭上 徑開夜淡無床 僧閒靜三生石懷 梵聲殘夜色昏滿 託徘徊隔溪人 露閒隨 玩月告許秋告庵僧 地 郭丽 (語月初上 膻 陰眠白鹿 丽

把酒 製造の1920分別をは、「町の町」とは、中では、「CAT ー 太白山 銀 īĽ 浦高寒帶碧霞三 一淡林絕遊不知 狎鷗鷺 中 , 舊時宅山人 有月華爲外斷雲吳苑隔蛩邊 版柱駅\ 屏孫太初故居 秋夜吳山玩月 華 坐影轉空廊踏桂花 淡淡分澗 山客老向西湖臥泉石南屏山色翠參差 明月夜上東岛松山人去分茗水上道場 大去鶴 、來分華山中十年飽聽南屏鐘湖 處 更風露靜林鴉空山步步皆秋意涼 潺潺朝煙不放漁艇去暮霞不抱 孤飛起妙禪屏定無恙我來弔 **片白雲終古**開 | 疎樹越 中 船

酒其一 肯 觎 更試蛟龍 聞 沈河漢 梅花三百株 陶峴營三船往來江漢稱水仙江 睡 湖 同壽蘇 名花與良友夜向湖心弄雲月曉泊隄邀玩 **褐幾眠鷗竹柏** 轉更攜長篴送歸舟 街樓琴臺露重青羅滑 一升篇 淵我欲營三 The second 更營 在一言。我 園 夜坐 弄漁笛 參差荇藻浮林澗響生 一升來往 叫文 Z 湖上居花 日逐 西泠口 一
歴
座
終
三 榭 開 漢 風凉白苧秋坐 香雪 風濤 城琴書 一照湖 泉娰石 MANUFACTURE OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF 駭魂夢環 煙 載 函 桺

圓 忠 間 漁筵 餇 泖 間 海 能 送 合 酬 醇 逃 遺 張 進 佊 析 古殘 煙廳 逍 護 骴 紃 禅 並 討 沝 散 進 何 烈 徐 秋 重 動 林 湝 岩 娦 最 鮹 錢 小 ĮĮ. 地 慷 . 飕 錄 叢 修 劉 去 烿 瘦骨 虤 竹烢 膯 14 髺 間 路 剢 檢 横 前 2, 殊 討 虎 榧 寒 對 今異

設「 開 丞 姓 俠 紃 維 縶 閟 僮 贼 穠 艷 史 色 粹 敵 胜 死 溲 酱 侯 目 鋋 鄉 劚 問 計 嬴 誘詈 頗 更 愍 m. 剃 次 勢堅 有 則 图图 有 餘 柳 城 **F**|-黔 排 瘑 **路逸岩蘭** 滐 死警 75 其 **玉**颜 蒧 磩 訶 驯 李 玫 溉 喬 頗 现 洭 基 変 郡 領 白 丞 则 略 E]] 師 崻 淝 攊 刃 壁 賦 紀 翁 緇 逮

遊 前 滸 此 耀 摅 製
ル 濉 過 粧 ١ 朿 此 Œ 岩所 女握 邓 凞 毹 CERTAIN STATES 絲]; 後 無 漁 恙 世 弘 护 田田 桁 淵 横 是 嬔 隊 停 赆

近 深 矯捷 餾 狄 何 狼 祀 阿 灕 Ţ, *\(\bar{3}\)* 峒 江 花娥語 湘 水 制 濫 路 火 筧 烟 金釵 波 姚 化 卷 渡 盤 平是 鳴 聊 끤 州 雙 兜 劍 縣 越 闒 鳳 一个 道遠 行娘 今埋從· 佔 巫 釽 披 织 舊 兆 遊 赐 迴聲 荻 湿 姬 前 峭 自 鄬 國 菜 榕 盆 樹 橋 狐 畔 扼

筅 置 經 書記字 松林 湛 雨詩寒木客 , 类容唇 天空 歴 銄 金 深山废帝 平李 杜連 墨家 綠 如 如药 吟月明 此解 濕羅 將 天鬼 赤 耶 雅 生平池 人良不易 資新編 學治 裂 仙 浉 澗 相 加 派有 奵 火 企 廟 洞。 网 際悲歌 獄 斑衣織許够相 溶 挑 柳 浉 盐. 花 雌 El 驻 石事集要 軈 枯 國 彼 匝 飄 址 睃 思 II. 口 变 寒畔 刻背 迦 沙沙 蛇 顮

思魂骑亡臣之來能不海流兮渾渾浴日日 楚而入越 擬不 海: 騷焉小海 國 百分怨君王之不悟中一人越蹩嗣君之信奉 於 局线 浴 F 島分並吹簫而乞食事先月分雙門走靈潮分朝夕 向無 H 则夷欲 45 碓 疏 戏 袻 認 业 往 永 (印今之人 從分陽供以為何忽改正 · 沈 猶 账手 塘 此度 君以 YIL 训 原 地

The state of the s 鄉洞 H 從 來 別 鄭范 心事本迎 頁自自持是另一 來多恨 生 公在 故城 閯 心心緣 宅中 園 保 事 被 筵 棲 君 色 于忠肅公墓 尔春 山墳來拜 閣 卷 知鐘 河池 明 松 肵 柏 鼓中 共斜 祈 水 坐静與 夕 緑 與業寬 臐 沒西陵樹

述 周 質 錫 夼 司 遺 與美幹 宣 寫 虎 史 岩 和 美 連駕 樂 許 作 唐 從 N 者或 儔 鄸 哟 鄰 岐 近 贞 從 愈 陽 賦 矯 塔里西 吉崩 典重 嵬 年. **狗**轍 É 迷 許 ij 弓 纖 破 1 陳 何 列 別詩異鴻 辫 遂 遊 辟 倉 耳 ,年 加 棄郊 寫 <u>...</u>††. 徙 攻 兼 汽 生 脈 金 東 源取 蘇 得 遮 淮 野 征 幾 矜 雁 尴 新 游 勗 考資 精 緟 奔 韭 科 虺 膊 補 蝕 美 變 棚 艘 匐 脃 風 紀 科 鰷 阿 共. 斗古 保 握 圭 泳 盟 腻 和

準 定吾與汝 紅 **源盛事冀遞舉明經製金石太末盛亭嶼他年寫禮堂** 心峽過 健 吳 岡 越 計字逾 和楊簑 折 明問別 亦在所江滸贊皇繼 觚 壁 樂師 紁 一經邁光堯笔 股 山
出
関 有 百 北鐵部 **虎東** 列期遊 倕 此本 巧慕倣 ·熊虎相 五 石 秘質珍談傷 鉤 瓊山衡峰 匹神禹定 一虎林觀 勒 開咽 本第 琳琅積 岣峻絶學遠 熊 鳳野憶搏 中道 AL PRINCE 元剛更 治日 臨晉文 利 獸 聞 例 沂

雲墜重重陰洞剛面面石壁脈芒屬杏靈陰寺我觀飛來峰與有飛來意 幾

WINTER STATES 獨 H 业 花 兩 後 溺 細斃 所 屏 作 有隆 郡 弔 阿白色等更名 洲張公 一陽影 王前 明兵 佛 事. 疽 死 心 部 來 何 초 勢盛 鄭 佝著張忠 鸽 、題名字 盟國 削 ぎ. 騎飢 終 ,扼 挾 演 饋 唐 鄭 脑 瑚 事 惟修寫 箾 兵 꺄 錢 破 忱 艎 敗 沈 Zi. 堋 公敬 慕 1 飛 耿 刚 斷 闒 惟 師 111 间 --公心率 螳 高 誣 外 前 謔 熦 追 呼猿 頒 直 詔 京 孤 事

苔

春

衫

劃

綫

一演名 無 更 愛青山 **漁中旣陷** 監 惻 今首 國去 忠 地 沈公完 悲 生言 思 陽古今忠 走 3 非一 門生 蛟龍升鄭帥繼 末路思再奮 山峻散軍歸去居 節 垂其名我尋公墓 一珍軍及 术 间 金陵 |姓鄭 義 八升子 感 同恐弔夜 死息臺 懸 亦聽從此 土卒 深枚校踏 海上寒湖 心義皆 丽島 來 錢

翁洲寂 催 同 作 温張陸 長 心心立 縣 功自 風游 旅院奉 驯 巨艦 與風馬 华

荒 遊 雅 觚 侧 公旗師再 业 若尚 间 盛 死亚 " 遞 漢家宮闕冷 敵 料 國難谷斛律光 躯 無心念三矢 分则作首陽 之楚 뛔 TE 丞 爬舟 河内 亚思 1:1 11 被版 從徐 当

温黄 路 風 形 舊 舊一件 在 江 花 秋 横 風 Ţ. 立 阁 黄粱骢琵 鞭 JE, 走馬章臺 睿 英問程虛 琴尊坐 關 背 人横筵 倚戍 业 動 Ý 끱 大道 樓 赐 宅 座 聲 |挾彈 亚 削 斜 芙蓉 俠 風 誰 仙 占 陵 秋 仙 尚 飲 有 餘

瓜 昭 类容 與机 堂 誾 衛 將 亚 學所 邹. 旌 利 乍 嶞 戦 妙 軍. 湖 將 北 因 來 功 行狀家 酮 成 為 壑 谁 常 將 **生**颜 將最 篇 E 傅 從 爽 色 張 順 辿 义 佩 骨 絅 頯 略 呼啸 三刀 [1] 賦 ,孰 星 戦 命 辰 .典. 辰 道 花 侍 間

開 世忠孝 FÏ 威重 涵滄 旋 縋險深 銀 凘 頭 里 有 当 海 顱 箌 心 全第 手 堕 無 淮 膏 业 鸑 椊 猵 死 祈 與首堂詩惡也 南學 車聲 鱗 兆 從 溉 逦 빏 篆 此首 績 飛 實 乘書前熟 仙 於 四筵驚一 電 震 沈 上將軍孫 降 烟 紀 刀淬浮不 與不反 紛紛 龍 苗 自 天 谿 將 爭 片 秋 单 拜 初 寒光 矣 夜 夜 復 秋濤三折 來 炙 |用戦 光前 南 H 沉 甲兵洗盡事 狼 射 山連 沉 為 烟 將軍 浆 場花草 稜 儿 負 先 而 健 捌 谿 郡 聞 殺 峒 想 滿堂貧 當 春 生青春 虎 歷 贼 短 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 - 120 -告 農 距 一洪 傳 手 殺 林 匣 割

我分 暁 國 銳 頭 靈隱寺 開碧陰 减 何 图自 青梭 非篆 溫 借 云是皇宋 永清 缩 秋 僧 灭 建 百年 雛導 捌 得 淘 花 觀貝葉 應 非神珙寫或 納 派 年竺 老 我 衣 見漢家猿臂李將 飛 ŦÝ. 僧 籼 右 江 pi 國 曲 部 經 鄠 亦 潮 闸 書奏 有 葉 來 衎 源 門見 圖 心 門落逝 雲意 林 湖 澄 奇峰 单 佛 峰 先 則 長 沙 飛 丑 珧 羅 水 列 松 岫 借 业 秋

鳴 孫 剕 乳 衣 將 秋 呼 雨 飛 湘 劃 恭 將 驟 兵 儉 斷 將 冷農 勢 耴 李 軍安足 車 廣 起 符 瀚 · 數奇 家 海 信 Ш 銅 蟴 謝 值 虾 良 E|| 罪 家 比 能特選 禁 歌 紅光透出 베 風 一彈雅 雁 子得 中頗 曾鈴幕 늸 樹 py 梊 The state of 秋 仮 恢 牧 結 惒 派 碧 老 홋 能 歸 思 府 雄 生 鴻 圖 邊 雲 蚵 酬 澒 心 塵 紅 長 功 誰 沫 將 死 併 無雙 稜 授 氟 梁 | 酸詩 稜 人 惟 浪 此 廣 餘 EII 脁 王 THE REAL PROPERTY. 應 氣 E[] 花 隅 椔 我 隨 兵谿 並 盯 縱 聞 傳

師 私 並 掌 筆 背 君 酬 浙 何 意 書 海 不 見 神 李蔡 會縮 碑 丽 酮 隄 鎹 詩 海 爲 扶 腑家 塘 否 將 雄 道 江 芄 水 入海 但 駶 删 而是 尉 成 꺠 浉 匱北视 後 邺 洞 产 戭 紐 办 弧 建 雲 夾 金 꺗 乘 邊 **今**幾 峙 舵 難 迹 迹 斗 聊 銅 花 金 東 彤 濺 浪 置 道 伍 靜 福 万已 銀 釦 淋

アニー・ラ

泪 張 州 L 載 烈 狷 韭 之 非 作 胍 您 修想右此見水 盐 御 巡 派 解 浴 誰 作和 III. 和 俠 카 坡 侍 娍 滅其を 詞發樓 恺岩 雕

縣 膽。闇 观服 游 氛 照儿死婴兵潛樓隸附者此徒此伏紫武

臣死忠僕死義 時游 回喷碗 立实重空 取 尖 水 山 銀 西 我 捌 道 河 愈 中 年前一年 子子 乘 來 同 玩 至今 滄 望斯 山 胍 天萬 游 付 派 阁 剃 稲 心 湖 磨青銅天 尚古登 白鷺枝 潮 横 間 亦此 秋欲起高 刷 山 惚跨 流 兆 夜 鹤 生 [4] 寒 嶋 質鎖 銀 呼 明

尚聽 攻 E 胍 父 鮪 稲 官 武 親 山 旙 刜 西 氣 캙家 **周至** 眉 州南 獲 贼· 麗 代 貧 手 紨 H 姚 臒 挭 戮 加尘 其泉 那事 徙 陌 仇 刑 、其夫賈 寒珠 戦 以祭 州 胡 邻 Ħ 梨 统 湖 後 爽 死 萬策 雄兒 紒 作三 女 2 巡口 华邵忠孝名 大 至 雲爽 棚 ij. 奪 /I 屍 诚

己歸 死此 第 凉 間 霜 武 心港軍 拔長 桿兵隻 父骨 昌 疝 箭 朝 **此**断機 心猶 城 衝 慟 夘 嬋 夏 自 詔書十道付專城 重 如江水健鴨蒼 贼 横 纏 痭 道重击迹给 骨 口 辭 媛 城 同灰盘 未抵 暮 哭 槂 詔 聞聲 起稿素登垣 燃 唱 但 命 瓣 猖 易 水 化 胸氣 早遊 范 關 甚 雙 金 門死事 山戦 連 閫 则 戎 棋 檀 ,II, 烽 鋒 旭 城 繝 不 伸. 暫 車 夜 耶 鼓 慷 乞 旗 同 達 軍 中 奪骸歸來還搏 翩 還 最 烿 代 死 煌煌 黃沙莽莽陣雲 無 狐 握子 思 郷 刜 歸 東 銀 門銸 H · 今重 武傷 嫭 空談 刀隊 州 定 分 長江 岘 夫 火沙場 見 彪 掮 幕府 萬 天啼英數門午雄泰

是 胍 愈 幕 茣 夜 Ш 問院 八 片 海 卷 外。 禍 森 瘢 溯 学長 秒 秋傅 花 FI 飛 湚 湖 E 潮 憔悴狠 字樂家 潮 新 族 艱 難 終古錢江 4 足 视 萷 朝 翰 夜 起 漆 雡 M. 稅 皮 微室 潮 傳 잸 此 基 叨 更 間 憂 經 避 何! 門 彩 膈 說 蔽 應學 | 狀 庥 沈 胍 避 宜 心 越 游 衣 源 Æ 观 幔 南 猶 飹

軍 向 逐 夢驚 蓰 脹光 t þa 依 瓜 黄 37. 鹛 懷 孱 黑 棄 是 1 沈 來 狍 形 夜 水 玻 游 峢 天 是 爽 馬 行人なるというになると 那 膠 熊間 胍 矡 學 蒼 迴 尙 舠 迎 士錢 赔 歸 難 汝公 有 公 翔 採嘉 呼號 國 來 為 旌 餘 頃 破 巍 忠 旗 衠 辭 刻 玉 魏 迡 谷 慈 定 介 荻 队 鄃 應 變 겐 忠 準 桃 劇 底 | 臨 総 義 肅 清 色 影 即 公 洌 湖 濧 繼 公 花 浦洲起 動 郷 塘 龍 馮 張黄 里 忠 猆 飛 雪 名斌 鐗 道 振卵 姚 浪 湧 日 溅 'n 德 五 띮 捓 銀 秋 並 馮謂先 湖

当 亦 恣 從 业 側 事 事 師 熊 焽 随意 峡 計 迴 밃 刻 精 傅 國 遂 戎 問 反 溯互 **令** 檄 援 源 珠 江 迎臣 阿 破 反 潰織 公 尨 岩 侧 狂濤 水 難 兵 減 訓 火點 用 赫 削獎 師 公言 址 [H. 辿 洂 泪 新排擠 非錦 今也 成 咎 將 殘 潮 分仰 农 各 潰 間 譍 悲 軍 封 膊 誰 14 i 蛮 聯兵 逝 織 閊 儲 徙 <u>-</u>J}. 加 野 甘 尺 何 澶 勤 再 回 野 誤 新 列雄 败 戦 北 测 誤 死海 兼 戚 心 志 馬 57 蚁 涴 مخر 阮 赕 Ť. 汞 鄭 派 始 澒 掠 形 天 衣 圳 بازره 岩 滅 Wife 液 詔 狼 M 交 去遂 俊 监 軍 嫌 恋 狽 用 恃 mj

到 通 余 坏乞 烟 Æ 戚 咸 游 槎 海 圆 煕 殘 避 年 卯 深 涨 11 無 虹 叫 湖 虞 图 誰 建 淵 間 寒食今來謁公墓 斑江. 拠日決 間 刊 业 第二碑太史文章伯長歌朱 瓜起干 策終從 放光 波 張 泉 121 遂 文 处言 殷凋 碑 令炎 南枝變過植遊 山死離座喪宏 勒 烟 **远處** 並公 非 骨 囲 闒 熄 池等筆 誻 後 嬷 死 蹈 졝 琅

21 峨 羽 屷 潮 蝞 沭 队 四 花 更 流 鷗 溯 竹 昌 否 扃 海 陰凉 縣纜 岘 於 南 林 來 寓 流 ᇑ 觀 先 1+1 遊 觚 悠 白 月 加 · 然送 迦 秋 城 夜 飲 風 岸 富 滌 얇 旅 澌 四 牛 遠 被流光 秋夢 娫 賦 水 浙 猧 勝 艗 暑 池 FF 霜 꼐 迡 中 鹏 響清磬 四 可 關 水 湖 庭院 綵 揓 酉 升 们 映涛 쩺 誠 順 裓 肥 寒 州 微 光浮 展 我 送 UL 四 恃 池 沏 텕: 散 沏 旣 遊 澄 州 松 澈 外 松 關 影 涼 事

斷 STATE OF THE PERSON OF THE PER 自 浩. **署蔥%**拓 妙 雪峽篁滿 **汎邊蘇** 未 杭 闒 公石 湖 設薦 風 画 天 笠展至 雲 船 門変離 院鳴 成公繼守杭 至 修無地容豆變小見 中 鄴 本珍現蝦 公 一个利 灛 之 頁首公子匹記 **公井去思** 秋 今住 來考稿 逃 涉七 劜 烟 神 訴 書院 德 娟 **瀬実** 書臺 女娘 那 蒧 百載北 庚 翮 寒 個 得 林 鄹 公 春父老 巖 泉樂 遊 堂學 字使 詩 疒 羽 如公賢公之 啟 羌 Ŀ 吹篷 湖樓 辨 7 E 生 恒 数往 推海 才海 與南 洞外。 瀬所 數 如 稼讀書 alt. ML 何 事老 月恒 經濟 後 虹 連 形 往還 强 數樹 党字公 奈 當作相 說熙豐 Ш 何 明 建 队 專 鎲 秋 春 劃 榯 祠

色 我 扣 行 堂 李有 嫬 舷 學使 迎 拜老 歡喜殘星落 淚不 勢難 꺠 生初負弧矢 七年出 谷 職弟 親 兩弟 聊 己老 敢 下堂 凶 即完全司法人 應替 pij 當 滿 推心飢語 未 入都 꾔 神 別諸弟 高城都 粒 迢迢帝城春歸 毣 淮 FI 南 里 招為春明之遊 成 年壯易 批 名 兩度客海昌 雞 恩門 與人 殷勤 誠 勉 海 分 拜-起 手況 游 別高堂遠 切俟三歲 内 離 **晋**別並示壽蘇 子夢寐 此 為勇 羅 家 知 稲 己盤 泗 A STATE OF THE PARTY OF THE PAR 漿堂 米 遊 生 怕 從 別 水 懋 離 胜 陳 膝

野孤影真妃憶女 天水傷心碧中區 朱顏在恩深綠縣 孤匙 **科青衣冷南遷玉鼄遙** 焦 在恩深綠髮銷殘 京 繃 江晚 影影 女祠和供是 見着 渡 風 视 哪 失趙家喜随 飛 北宋宫人 隋 堤 囘首 金 鎭 非 图 惡零隋 潤 留 喊 邚 風 **沙水** 南渡至底陵 角 殿 洞宇 苑 恨 樹 傍 鵬 殘傷 淚濕 咽 麗 陵 逍

立 腏 卓識 斷 旗 加 康 亦危殆 何 草堂 碧雲 秋泛 事務 水涴珠 伏 模档我笑尘同呼 中倚紫 地 台とこうで **殘**蕃濫 真 觀 消 閼 動計 以 戏 死争 梅部裝無 풺 诚 正氣激發菜縱 桓 湖南 遲 意氣 E 可惜 罄 壁 깺 何 极 影 队 鄙 平 名 Ĺ 瑶 逝 贬謫 在 救 鳭 未

和 銀 滞 城 水 突玉 观 準 巡 緑窗 紅 小二 ではしたことにとして 壁 樓聽 裂馬蹄 폜 艳 遷歌 新 湫 譋 帆 詢 崹 = 思 且 臺 死 揮

重向醉 地從來左 横拜 去霓裳孤絕 上此聲 聽 好播弄秋 轉徐餘音 琶聲斷悲歌起 典勞擁戴 師 曲凉州萬花舞 復南渡 史忠正公墓 風流寄腰鼓狀元 有小肆機謀不得高美佐 半 何李詩塩幾廢興、 无其分憂 一闌干節幾 縋 鎮語訓 衛背 報 中骨術 軍敢 閣 部

史 前籌圖 死 左 孫霧江山自明雄 山土 印網灣 朝 败 重登蜀 丹心 延 以亦著兇鍪經略 朝爽天地洗秋色朝風吹擊雁 <u>ار</u>ر 人已忘 無愁歌舞春燈夜點花 **下雜虎殘礙** 網開 流遊書 基 H 原事業休職 門容再 月酉前身文信國證粹武鄉侯義上 壓詩選舉 **家難** 是能 别 南嶼南帝 走進 拜溉派過市滿 昭代重諫疏史 開 應心傷無指 易型碧血蜂 舢 國鄉有人 小部誕名開搜粉黛宮 艱難仗二 厄求冰 火照 悸眼 製別無計借 劉 大碧 澄高 典王

經無注任 朝夕明發挂征帆白雲丽不 兹遠行客落葉別 河 虚洪園竹 黄河待波題河神洞壁 月夜調岱廟 殺走雲陽積石東來第幾灣馬貢有書容我讀 人删地形漸恐江淮合國 爾清力大 尚 晋 可許宣 齊魚龍白 |登眺地今日已 問 凍賦 一計方愁候狐 === É

脈虹 嘉慶 \mathcal{F}_{L} 關祚煙籠 **偷**霜 并 儀衮提鵬 此城 玲瓏 都蒼翠貯的宗明發不及登 戊午元冥方司冬時惟 傳 金 虔恭乘燭照書姓金 糜玉 巡 門的近空詩選必 金鋪唇朱 聊 餘 國領陳肅 萬騎蘭節交支 泰 握 帝容廟亂導 者惟率從 初至遊參亭住氣深 列發銜 華葢玉女 涮 企 陰麻繪 胜 浅前 鏦冠笏 釭 調笙鏞 祑 深重重 扣 擬 仰兹綽楔 以 明雙瞳 育主发惟亂 杵 朝 杉高若匠 仰心臟 中 被 權 **青旄粉終**释 温 泪: . νÜ, 一楼的梦梳週 腸前 生工 e 橫夜碧華 磵 同 東森抵 公劒 神經 行為我 脚走 鍾 有 够

陰農区 数泰皇 芙蓉是 復有數 更柴 室 吃 五岩 拾 如 闁 級登崇塘嚴嚴氣象 慈 松別漏 追靈蹤 兵氣羅華尚軍 1 五豐 者顔 色積鐵 石浮海 氟 Œ **神豐瓜** 混庭· 星當虛空紫氣 面燈 深湖 兆 植 融 ~ 虚漢 傀 夫 扩 地 非走 被 獄 氚 風 何 如 ! 節首 扶桑上 將節 府役 実 寫變相 4 根 製胸 對 西蒙徐华 柯 影射 を整件 泖 朝 鬼 F 羽檄交河道 毒光能能 肵 垂墜 青 物 视条徂徠 日的挂将軍 处 銄 填青紅 彩碧 门 虯 不知名 逾 谷 1; 維 更轉 畝 次 占時能 花 風質 浝 弓界 新 企 頻夢 波 吳 山 扪 蒯 葋 不 彩

壁號宗 燕南垂地 化體父老正達幸計日應東封願 銷素楚烽 易京行吊公孫費 遊情果籍甲樓與 北際中央不合大如硼能有 御香滿明醒上與唐處 The state of the s 罪討城計本疎界橋 天子嗣賓位祭告相 百樓雌 很有袁本 屑寸雲 直 偏師攻鐵 所高局框 A 舞樓上鼓角鳴地中 1 同 誠通青主禮 門堅守居高京前 敗無雄岡當時 相如文金泥麗 一家盛禪 代海病醇 東方典視 兵酮 とした

形勢燕雲排 起來關 者雄心盡 編 都 白溝河懷古 膦 饃雲連蜀棧旌金城 湖港學新 下呈王蘭泉司寇 Ш **微戰血** 三殿燈重過麟陽畔淚灑曲墀水 戎馬南來蘆葉暗 根不勝煙波別图 未光兵 因循誤始謀 一群真似劃鴻溝金錢在 昶 今皇親莅政諸將 上方略封事為若 宮 車 酒 生 圖

官員功名古來少美麗金貂都道好 深處欲使微名達相公從今卻被東風 梭炙手熏天第一 陽學歌舞平陽歌舞雕繁華移出 州貢比公家早許降同昌是國 吹墮涵從 **原**海道是古世纪之一 | 汾陽里粉 今不順五侯家侍即華壑股 海南 海河源幾度行居然功業齊驃騎廿年 稚頻須沁水園 流渡邑金多類起宅高安年少已封 正阻兵仰延半從私室飽軍書 雅花解語十三嬌小怨琵琶苦向 勿監花開復花落聽我 恩春 不疑原是梁家弟棠 雕闌 庫珍遊 誤相公早歲直 動順移入候門 自玉花幸免世 月華 TO MERCHANISMAN 取取

到是相 加盐 養飯俠王黃梁 未竟功已 擊鼓催芳識菊部調等 画直 時猶誇虎踞龍 到宫 牆 遭妒宫髮別有內 在絕席軍容敢 日權難謝奉御 誤 門 うないおきいちなるかって 居三事更放共雕施 曾無計 一金釵香陣 派行 厞 家牧 重難规范 換舞衣後 冷 陽毫雲雨逝 大家 列公卿稱弟 火城 房獎媠 臣由書盧李 **東郑他生杠作** 暇騎馬常 萬處 시 行人の対対なるとなってい 御史 是鐘 頭行 從禁 耳 河門軍 谢 أنا

禁鐘 帖 框社 羽 秋 都 隱隱觚稜遠仙苑迢 萷 散 移換 1 都宮鴉 湖 阿 娘 酒樓望 獨 -间: H 刚 有 南 傾道堂詩選卷 勝る 相 複些白雲東詞宛轉 紅 分柳色明 府遊今朝已 聞絕代人綱絲 只勞延 陥 物悲能 圓 明園 山嶼湖 便峽 別 淡患相蘭 湖 烻 離 | 数旗亭柳辛吉 一縣份隨花 樹 水 應貨形殘春將軍 斜 同 路 雲 訓 吟香 外 松陰繃橫花 更向等前奏落 珠啼 荛 横翠蕊雨 何 紅 儘 牆 誰 拉 作 奴 四 鴆 嗟 魚 時

縣派才 英比 何 心繋枚 戎戎 綠 繸 毘 景泰廢陵 巧 天 明 治隔 健解 狭時 湖 fili 斷 骨 基 內 臣墓草凋 pj 封 严 泉 烨 不樹 京華 茶雲 能 Ц 託選 樓 職 出 閣 4

脈 舉公 求上 列 皆重聲華世 火延素弹势 "惜狂! 稜寫葵藿五 門 树 一珠樹 2 (目がしたこうけんしこと 间 争 志 海傳 你 所數容濟讀書 पंग 作漢蘭臺 才信風鸞文章 華林 亦席上贻洪稚存 有 雲高處 又幾年心肝杜 來英聽 記 關處歸 與公氣節膚滴盛文章籍提雄治 隱 取 隱無應 日華紅 **諧談處無忘** 腿歌 亦 帝命變龍 好 處 魏曹植經術 耕 隔莲島 唱高懷 **睃捆涕** 風雪草堂 赋 史 倡劾求班馬 角 迢迢有路 寒 朱 邊 泗 1 劉 杯 生賢疏草 瓛 氣節 河

丹霞 獨抱籌邊志殘燭陰符件寂寥 国法空再变统 停琴送晚湖南去孤鴻書沙沙西征萬馬路迢 中老詩伯情 樓臺夢未遙舊遊歷歷耿中有 晚 週 寄家默齊騎尉海昌 梧門祭 過四苑 水水 漏憶銅龍京楚騎驢客吟情未許備 酒詩龕題壁 幾天蓉華月宮城樹 酒邊說劍邀秋 豼 孙亦合仙 迢 眉

京雲瑟瑟夜沉沉影落高梧小院深雁背疎星五更竹鳳 門君下 八門僧臘我意別有說事先實地踏李杜韓蘇華 明月萬家佑江湖白苧獨人怨關塞青琴俠客心聞道 州師平淡江海答濟深 · 漢魏流派遠齊梁門運雜一 長安秋夜 入未返高樓秋夢會相尋 西漢五鳳五年凱硯歌為雲臺師作用亞谿光歌 周璆楊君詩通 有字處以建初尺度之長七寸弱厚二寸弱。 **新買谿光禄漢五風五年瓶記云漢歌** 東京社会寺里会 一神悅神清定齊偽拈花悟佛理指 一笑各志言嘯做雲山 親歷之未可厭複沓 就其側 衲 陰陽耳 額

家澉浦芑 皆若不知有否竹房者何也阮雲臺侍郎自浙 Æ. 有磨去也餘三面 有小線轉竹房琢三字近時張芒堂以小楷 作陽文五鳳五年四字字皆 三寸四分則 字稍長年字下直似極長而磨殺也研右 同うろ言語文名 | 銘并序於,研四圍竹房琢三 以示子為記 皆與吾子行居相近 原制矣所左 琢研時 工名之 寸許下五字视 日薛的功称漢器 一字為所壓鑵 侧 四周複邊 面背僅 而二

减 其文 日黃龍 四年何以云五年也 者未有 乃省 之政元 則学在 一年最敘 能放 其文 鳳皇至 李善西都 於此 Ž 赐 II 詞不言降 抓 祁 塑所 詞计 班 巡 注引漢書宣 可以见工度 風之 以名元年考此 調孝宜之 成 (陶旗) 所成故字 甘露之 何 世 在黃龍 時 文陽 [4] 一面元 年其明年 付您元! 馬漢五 而居器 前 鳳 削 在 僅 侧 in t 侧 华

付露之 也 章詳略間伏之 直交用隸勢而下 / 顯故此 石刻已 則此 可以見 不將其事而 奉三月仍稱 政元在 史法馬此 云篆未遠 歌也可以見書藝馬告歐 憾而今於五 妙 木年 使 此 侧四字其上 中間 卵甘露降 經線之 風時既見曲阜之 车 丽 何疑乎故 浙滸之地 たし 五字中間 而阮侍郎寶 用篆勢是為 確認管 此 臺 年春 此 灰 批 温 119 则

又未可疑孝宣是時單十請內屬不勞衛霍問窮邊伎 匠悉綜核模範之字如雕鐫字體象法初變隸但有平 樂當日近湖汐築塘坠緞術誠懸改元在後製在前縣之所出定何 刻石紀年相 不築江海 鳳祗四年五年之就史未傳兹 以詩 返 \overline{u} 狒 年已問 合無差忽因推侯國改元例春 神舒集長樂煌煌鶉 搁 **阪中直渡秦皇船同時鐙檠上** 老 直度秦皇船同時鐘檠上林造金夏國婚號尤杳然孫休寶建德皆 何所太末之郭滄海 火炬星腿 小事不肯史有例 亦 為記其概 獨以五年者 秋 曲阜之縣 而 附

官馬印太平鏡 中樹浮青煙此 漢紀. 附 庚 尚 錄 **逢繒不數永平之八颗** 指す大月三百五六 沐 日浴刀_ 好事往往 干載 眺 吸長篇竹房誤認階古生 火法老輩考定推翁錢★ 永温 水平八 新 祖山方伯 强 健幾 沫 蛟 龍 涎 琅 飕 翁方綱

副副國際公司(可拉里·中國)於一 **契錢**釋石銘 隸古争流涎欲爲竹垞解嘲否五鳳此刻方真縣竹岸 阜五鳳二年 回回 翩然百四 和四年 富平雙節行 日為縣 方璞多少質刻難齊局試拓百本廣著錄西 腳 - 宮列錢壁三十五舉珍珠船墨雲飛起石 瞥西治煙侍郎得此歷裝裕書銘如對張 央瓦費標為舉腦星腿背爲靈光殿基 子家居近太末未及良佑搜遺篇英輕 您進時吾友共渝 也年曼卿記又百年後洞簫道年夢是以元朔元年為安王元年不當云魯三十四年子訓史 此史表 · III and the succession of ~例奚拘牽

樊氏女子歸年十七良人 太華山頭松點者山下柏相去天 康熙二 諸生不知家之有樊氏
也而獎亦守
志不變
死 和之見吳中詩鈔 旌其門方子東華作自幵行以喪其爭率果有詩 生母李扶槻還鄉奉樊氏禮不敢闕有司以聞 **流轉貿易于浜省之自开別娶李氏生子文達甫** 陝西富平人 一年富平合移文滇省交達始知家有嫡母因偕 歲而自慎死李氏以母兼師課文達成材名列 一十二年換氏女年十七翁姑迎之歸自慎 八孫自慎幼聘樊氏女未娶而去其鄉 **〈遠服買萬里關山** 方各自歷冰雪富平 山隔女身奉 THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE OWNER.

家有親始知聘有室天末兩黃鵠悲嘯動魂魄扶極還故 鄉關河瘁行役親已歸重泉室方真咨節相見雪盈頭相 世有名德不知家有親不知聘有室生子甫十齡夫死形 嫜未婚代子職 鱼知即 如是四十年蕭蕭華髮白一旦達官符羽書飛鳥驛始知 影隻教子若嚴師撫孤幸成立即家在何處萬里 沾臆事室體有加嚴若庶與嫡里郇互觀嘆有司上 動邊愁笳聲塞外秋悲歌託湘管謫戍老吳鉤吊 題吳漢槎秋笳集後 の不可当当時思念一 九重經皆旌里宅泰月與與雲萬古生顏 不歸流轉更他適訂腎白幵李家 THE PERSON NAMED IN 閯

殷烈女家近大小沾小沾種菱芡大沾長茭蘆茭蘆自 蓮花出淤泥清心不可染貞松生培塿高節不可貶不見 青城遠投荒黑水流玉門生 天津般烈女詩 女受湯沃火烙之慘强使迎門卒不可得官廉其 故娼也嗣女美能娶為媳母初不知旣而悲且 女少孤與母兄相依兄貧不自存莫知所適姑那 烈婦墓不子夫故不稱婦死日烈受正命也 創猶堅諱之未幾畢命夫姑皆置於法女 知錢刀貴豈 一つにというできない とこうし **耐葬四** 開

死志已定奚用多言附生寄知 詩遞卷一 里詩選卷